



# 在住外国人等の子供を対象にした安全啓発 ～多言語や「やさしい日本語」を活用～

東京都都民安全推進本部 総合推進部 都民安全推進課

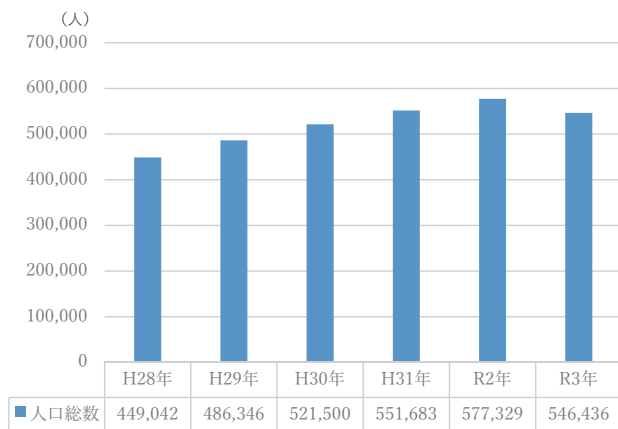
## 安全啓発の取り組み

都内に居住する外国人は、2021年1月現在約55万人と前年に比べやや減少しているものの、増加傾向にあり、在住外国人や外国にルーツを持つ者（以下「在住外国人等」という。）の子供も将来的に増えていくことが予想されています。

そのため、在住外国人等も地域社会を構成する一員として地域の安全に協力してもらうため、在住外国人等を対象にした安全安心に関する取り組みや啓発を推進していく必要があります。

そこで、都民安全推進本部では、2020年10月から在住外国人等の子供を対象に、安全安心に関する基礎的な知識を多言語や「やさしい日本語」\*で掲載したテキストの作成、講師を派遣して行う安全啓発講座の開催など、子供たちが犯罪やトラブルに巻き込まれないための安全意識の向上を目的とした、安全啓発の取り組みを行っています。

\* 「やさしい日本語」とは、難しい言葉を言い換えるなど、外国人などに配慮した分かりやすい日本語



都内に居住する外国人の推移  
(東京都総務局統計より作成、各年1月1日現在)

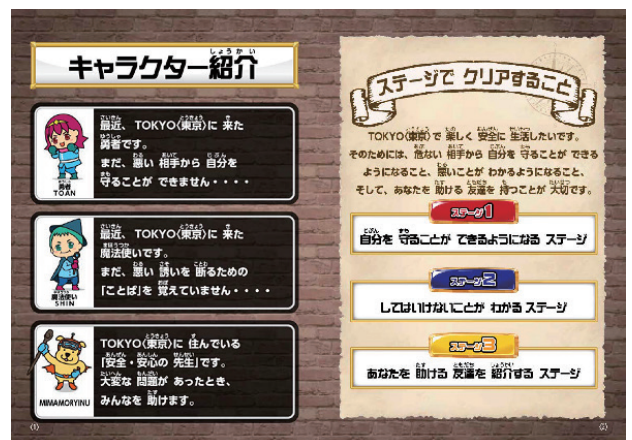
## 「安全安心攻略ブック」の作成、配布

「街で身を守る方法」や「万引きは犯罪」など、防犯や非行防止に関する基本的な知識を掲載したテキスト「安全安心攻略ブック」を作成しました。



テキストは、全32ページ、A5サイズ（短辺148mm×長辺210mm）の仕様で、「やさしい日本語」を含めた7種類（英語、韓国語、中国語（簡体字・繁体字）、ベトナム語、ネパール語）です。

2020年11月から、都内にあるインターナショナルスクールや在住外国人等の学習支援を行うNPO、区市町村の窓口などに配布しています。



「勇者」と「魔法使い」が登場し、ゲーム仕立てのストーリーで安全について学んでいく構成です。



## 安全啓発講座「ティーンエイジャーのための安全セミナー」の開催

主に在住外国人等の小学校高学年から高校生相当を対象に、「防犯力」や「規範意識」を身に付けてもらうため、インターナショナルスクールなどに講師を派遣して安全啓発講座「ティーンエイジャーのための安全セミナー」を行っています。

また、講座では講義に加え、子供たちが自ら考え、話し合いをするグループワークも行っています。

講座は、日本語または英語（申込時に選択）で行うことができ、希望する場所に無料で講師を派遣します。

時間は60分で、希望により、オンラインによる実施も可能です。2021年度は、40回の実施を予定しています。



都民安全推進本部のホームページ（英語・やさしい日本語版）  
URL : <https://www.tomin-anzen.metro.tokyo.lg.jp/english/>



ティーンエイジャーのための安全セミナー  
NPO 法人 青少年自立援助センター  
YSC グローバル・スクール（福生校）

## 在住外国人等に向けたホームページやSNSでの情報発信

これらの取り組みのほかに、広く在住外国人等の安全安心に資するため、都民安全推進本部のホームページ内に英語に加え、「やさしい日本語」で本部の事業を紹介するページを設けています。

また、Facebook を活用し、「やさしい日本語」による安全に関する情報発信もあわせて行っています。



Facebook アカウント名  
「みまもりいぬ」

都民の安全安心を推進するマスコットキャラクター「みまもりいぬ」

## 安全啓発の徹底

都民安全推進本部は、これからも在住外国人等の子供を対象にした安全啓発の徹底を図ることとしています。2021年度は、新たに小学校低学年以下を対象に、分かりやすい表現で興味を持って見てもらえる啓発物を作成する予定です。

オンラインでも受講できる安全啓発講座などの取り組みともあわせて、コロナ禍による環境変化で支援が手薄になっている在住外国人等の子供への安全啓発を推進します。